

＜対策のポイント＞
ジビエ利用拡大を推進するため、捕獲から処理加工段階の情報を関係者が共有できるネットワーク構築に向けた実証を行うとともに、処理加工施設等における人材育成、EC（電子商取引）サイトを活用したWebマーケティング等を支援。
CSFのまん延防止には、野生イノシシへの経口ワクチンの散布とともに捕獲強化を図ることが必要。このため、野生イノシシの捕獲強化に向けた取組を支援。

- ＜政策目標＞
- 野生鳥獣のジビエ利用量の拡大
 - CSF終息に向けた野生イノシシの捕獲強化

＜事業の内容＞

1. ジビエ利用拡大に向けた取組を支援

情報共有ネットワークを核とした川上から川下まで繋がったジビエ利用拡大に係る取組を支援します。

＜ネットワーク構築＞

- 捕獲から処理加工段階の情報を関係者が共有できるシステム構築に向けた実証

＜捕獲段階の取組＞

- 高度な衛生管理知識・技術を有するジビエハンターの育成を支援
- ICT罫やドローンを活用した捕獲情報の管理の取組を支援

＜処理加工段階の取組＞

- ジビエ処理加工現場でのOJT研修を支援
- ICTを活用した在庫情報管理等の効率化に係る取組を支援
- ウデ・スネなどの未利用部位を一箇所に集約して有効活用を図る実証やペットフード商品開発等を支援

＜消費段階の取組＞

- 異業種（ネット通販業者、旅行業者等）と連携したワークショップの開催により、ジビエコンテンツ開発を促進
- ジビエ新規購買層拡大に向け、ECサイトを活用したWebマーケティングを展開
- 需要が見込まれるペットフード関連先（動物病院・ホームセンター等）への多角的アプローチを実施 等

2. CSFまん延防止に向けた捕獲強化の取組を支援

- 捕獲活動の直接支援や都道府県が実施する広域捕獲活動の展開等を支援
- ICT等を活用した効率的な捕獲活動の取組を支援

